

【異文化コミュニケーション学部／研究科】

2016年度以降入学者向け 履修要項（2020年度配付）訂正・変更一覧

（2024年6月19日時点 訂正・変更一覧）

* 全学共通科目の訂正・変更については、以下の「全学共通科目 訂正・変更一覧」を確認すること。

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと ※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと ※冊子 PDF には反映をしていません

<2024年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達について	1 掲示 2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は2024年度版の履修要項で確認すること。
3/19	13	変更	科目ナンバリングについて	2 全学共通科目のナンバリング 3 異文化コミュニケーション学部専門科目のナンバリング	科目ナンバリングに複数の追加・変更が生じているので、2024年度履修要項で確認すること。
3/19	18	変更	Ⅱ 授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講 8 学校感染症に罹患した場合の措置について	「授業形態」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は2024年度版の履修要項で確認すること。
	152		博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
3/19	22	変更	Ⅲ-1 履修規定（単位）	2 卒業要件単位	以下の文言を追加 (3) 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は、60単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業60単位上限）。60単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 履修中及び修得した遠隔授業の単位数は、成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業60単位上限」の対象となる科目は、授業形態により定められる。授業形態については、Ⅱ 授業（学習生活）を参照
3/19	24	変更	Ⅲ-2 履修規定（履修についての注意事項）	2 履修登録上限単位数	「〈全学共通科目の履修登録上限単位数〉」において、言語自由科目（英語）に関する記載を削除
3/19	24	変更	Ⅲ-2 履修規定（履修についての注意事項）	3 重複履修	科目名変更に伴う記載変更 【変更前】 Special Topics in ICG A～C 海外インターンシップ(CIC)B 【変更後】 Special Topics in ICG 海外日本語教育インターンシップ

3/19	34	変更	V 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」(2)※部分について 以下のとおり変更 全学共通科目言語A(英語) ↓ 全学共通科目言語系科目
					「3. 抽選登録」(2)⑥部分について 全学共通科目言語自由科目(英語)に関する記載を削除
3/19	40	変更	VI 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」、「成績」に関する事など、項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	170		博士課程前期課程 VII 試験・成績		
3/19	54	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業(9月卒業)とは」において以下の文言を追加(赤字部分) 3. 申請時において、在学8学期目以降の学生であること ただし、在学学期数に関しては、法学部法学科法曹コースの対象学生については、在学6学期以降で足りるものとする
3/19	56	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学 6 再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、この項目は2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	185		博士課程前期課程 X 学籍・学費	2 休学・復学 5 再入学	
3/19	61	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に以下のテーマを新設 9. Russian Language & Culture 選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。
3/19	67	変更	XI 5年一貫プログラム	3. 出願資格	以下の文言を追記 ※コースごとの要件についての詳細は、R Guideを参照すること。

3/19	72	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 英語教員・各種養成プログラム	英語教員養成について	<p><異文化コミュニケーション学科「教科および教科の指導法に関する科目」> 2024年度の科目名変更に伴う科目の記載追加</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>異文化コミュニケーション特論 ※2023年度まで「異文化コミュニケーション特論B」</p> </div>
3/19	74	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 日本語教員養成プログラム	2. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。
3/19	75	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 日本語教員養成プログラム	5. 日本語教員になるためには	<p>以下の文章に変更 将来日本語教員に関わる職種への進路を希望する者は、このプログラムを履修することにより、知識が修得できる。2024年度開始の国家資格「登録日本語教員」の取得には、日本語教員試験合格と実践研修の修了が必要となる。より専門家としての知識および能力を習得するためには、大学院への進学も必要である。</p>
3/19	76	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 通訳・翻訳者養成プログラム	2. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。
3/19	80, 102, 124, 136	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	3 選択科目の履修要領 2. 先修規定	<p>科目名変更に伴う記載変更 【変更前】 海外インターンシップ(CIC)A 海外インターンシップ(CIC)B 【変更後】 海外日本語教育実践 海外日本語教育インターンシップ</p>
3/19	80, 102, 124, 136	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	3 選択科目の履修要領 2. 先修規定	<p>以下の科目は2024年度より先修規定が廃止となったため削除 Advanced Seminar in Intercultural Communication Language and Identity International Organizations and Sustainability Gender and Communication Globalization and Media</p>
3/19	81, 103, 125, 137	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	コミュニケーションセミナー (CS)科目【基盤科目】	<p>科目名変更に伴う記載変更 【変更前】 【変更後】 CS1B ⇒ CS1 CS2D ⇒ CS2</p>

3/19	82, 105, 126, 139	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	<p><一般・TBP> 5-2 海外留学研修 A/B/C【基盤科目】</p> <p><DLP> 4-3 Overseas Study Program A/B/C【基盤科目】</p>	<p>以下の記載内容に変更</p> <p>【変更前】 (2) 留学生は、出身国の留学プログラムを選択することはできない。</p> <p>【変更後】 (2) 留学生 (=外国人留学生入試により入学した学生), 9月入学者 (NEXUS プログラム生含む), および PEACE プログラム生は、原則として出身国地域の留学プログラムを選択することはできない。出身国・地域は外務省の HP に基づいて判断する。</p>																				
3/19	82, 105, 126, 139	変更追加	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	<p><一般・TBP> 5-2 海外留学研修 A/B/C【基盤科目】</p> <p>4. 履修登録・注意事項</p> <p><DLP> 4-3 Overseas Study Program A/B/C【基盤科目】</p> <p>4. 履修登録・注意事項</p>	<p>以下の記載内容に変更</p> <p>【変更前】 (6) 「海外留学研修 A/B/C」履修中は、「海外留学研修 A/B/C」以外の全ての科目の履修はできない。</p> <p>【変更後】 「海外留学研修 A/B/C」履修中は、「海外留学研修 A/B/C」以外の科目の履修はできない(「留学、学びのデザイン、キャリア」は除く)。</p>																				
3/19	83, 106, 128, 140	追加	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP・DLP)	5-3 留学、学びのデザイン、キャリア	新規項目。詳細は R Guide の「留学、学びのデザイン、キャリア」を参照すること。																				
3/19	88, 111	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (一般・TBP)	<p>9 DLP への変更</p> <p>5. 同一科目・同一内容科目, 各科目の算入区分</p>	<p>2024 年度の科目名変更に伴い、2024 度より以下の通り記載科目名を変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>DLP 科目名</th> <th>一般科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">選択科目</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基盤科目</td> </tr> <tr> <td>Communication Seminar 1B(〇〇) ↓ Communication Seminar 1(〇〇)</td> <td>コミュニケーションセミナー1B(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)</td> </tr> <tr> <td>Communication Seminar 2D(〇〇) ↓ Communication Seminar 2(〇〇)</td> <td>コミュニケーションセミナー2D(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)</td> </tr> <tr> <td>Overseas Internship (CIC) A ↓ Overseas Japanese Language Teaching Practicum</td> <td>海外インターンシップ (CIC) A ↓ 海外日本語教育実践</td> </tr> <tr> <td>Overseas Internship (CIC) B ↓ Overseas Japanese Language Education Internship</td> <td>海外インターンシップ (CIC) B ↓ 海外日本語教育インターンシップ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">選択科目</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門科目</td> </tr> <tr> <td>以下の科目を追加 Topics in Translation and Interpreting</td> <td>以下の科目を追加 通訳翻訳特論</td> </tr> </tbody> </table>	DLP 科目名	一般科目名	選択科目		基盤科目		Communication Seminar 1B(〇〇) ↓ Communication Seminar 1(〇〇)	コミュニケーションセミナー1B(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)	Communication Seminar 2D(〇〇) ↓ Communication Seminar 2(〇〇)	コミュニケーションセミナー2D(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)	Overseas Internship (CIC) A ↓ Overseas Japanese Language Teaching Practicum	海外インターンシップ (CIC) A ↓ 海外日本語教育実践	Overseas Internship (CIC) B ↓ Overseas Japanese Language Education Internship	海外インターンシップ (CIC) B ↓ 海外日本語教育インターンシップ	選択科目		専門科目		以下の科目を追加 Topics in Translation and Interpreting	以下の科目を追加 通訳翻訳特論
DLP 科目名	一般科目名																								
選択科目																									
基盤科目																									
Communication Seminar 1B(〇〇) ↓ Communication Seminar 1(〇〇)	コミュニケーションセミナー1B(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)																								
Communication Seminar 2D(〇〇) ↓ Communication Seminar 2(〇〇)	コミュニケーションセミナー2D(〇〇語) ↓ コミュニケーションセミナー1(〇〇語)																								
Overseas Internship (CIC) A ↓ Overseas Japanese Language Teaching Practicum	海外インターンシップ (CIC) A ↓ 海外日本語教育実践																								
Overseas Internship (CIC) B ↓ Overseas Japanese Language Education Internship	海外インターンシップ (CIC) B ↓ 海外日本語教育インターンシップ																								
選択科目																									
専門科目																									
以下の科目を追加 Topics in Translation and Interpreting	以下の科目を追加 通訳翻訳特論																								

3/19	121, 133	変更	異文化コミュニケーション学部履修規定 (DLP)	学部必修科目の履修要領	<p>【変更前】</p> <p>(4) 配当年次に単位を修得することができなかった場合、原則、次年度以降の開講学期に再履修となるため、いずれの場合も単位を修得できるまで自動登録される。</p> <p>【変更後】</p> <p>(4) 配当年次に単位を修得することができなかった場合、①次学期以降毎学期再履修する科目、②次年度以降の開講学期に再履修する科目に分かれるので注意すること。</p> <p>①Academic Skills A/B (2024年度秋学期以降)</p> <p>②Overview of Language and Communication Studies, Overview of Global Studies, Cultural Exchange</p>						
3/19	162	変更	博士課程前期課程 Ⅲ 履修規定 (修了要件単位について)	1 修了要件単位 1 単位制度	<p>1 単位制度において以下の文言を変更 単位とは、学修の量を数字で表すものである。単位数は、それぞれの科目によって異なり、授業科目による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して計算している。 異文化コミュニケーション専攻博士課程前期課程では、次のように定めている。 週1回 (100分) 半期の授業で2単位とする ↓ 大学院博士課程での学修は、単位制となっている。科目には一定の単位が定められており、その科目の履修登録をし、授業を受け、かつ、試験に合格した場合、当該科目の単位が与えられる。</p> <p>「2. 単位の考え方」の項目追加 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p>						
	198	変更	博士課程後期課程 Ⅲ 履修規定	2. 単位制度	2024年度履修要項の前期課程の該当箇所を確認すること。						
3/19	162	変更	博士課程前期課程 履修規定	1 修了要件単位 2. 修了要件単位数 6. 他研究科科目・学部科目	自由科目の区分に以下を追加 他大学院科目 (協定大学院科目)						
3/19	163	変更	博士課程前期課程 履修規定	2 履修区分ごとの履修要領 4. 重複履修	以下の赤字の文章追記 一度単位を修得した科目については、再度重複して履修することはできない。ただし、「通訳翻訳研究特殊講義」においては重複履修を認め、修得した単位は修了要件単位に算入される。						
3/19	163	変更	博士課程前期課程 履修規定	2 履修区分ごとの履修要領 5. 先修規定	<p>2024年度の科目の新設・廃止に伴い以下の科目追加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>先修科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通訳翻訳専門実習 A※2</td> <td>会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳2または翻訳の原理と方法・翻訳演習1・翻訳演習2</td> </tr> <tr> <td>通訳翻訳専門実習 B</td> <td>会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳2または翻訳の原理と方法・翻訳演習1・翻訳演習2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2「会議通訳2」「翻訳演習2」については、「通訳翻訳専門実習A」と同学期の履修を可とする。</p>	科目名	先修科目	通訳翻訳専門実習 A※2	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳2または翻訳の原理と方法・翻訳演習1・翻訳演習2	通訳翻訳専門実習 B	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳2または翻訳の原理と方法・翻訳演習1・翻訳演習2
	科目名		先修科目								
通訳翻訳専門実習 A※2	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳2または翻訳の原理と方法・翻訳演習1・翻訳演習2										
通訳翻訳専門実習 B	会議通訳入門・会議通訳 1・会議通訳2または翻訳の原理と方法・翻訳演習1・翻訳演習2										
199	博士課程後期課程 履修規定	4. 設置科目の区分と履修方法 (4) 先修条件									
3/19	164	変更	博士課程前期課程 履修規定	Ⅳ 履修規定 (単位認定)	記載内容変更 2024年度履修要項 前期課程の該当箇所 (Ⅳ 履修規定 (単位認定/大学院間相互科目の履修)) を確認すること。						

3/19	169	変更	博士課程前期課程 会議通訳予定プログラム・翻訳専門職養成プログラムについて	2. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。
3/19	181	変更	博士課程前期課程 Ⅷ 修士論文／課題研究	9. 審査基準	以下の通り記載内容変更 【変更前】 題目届の提出，中間報告会，仮提出および予備審査を経て，質・量ともに学位を与えるに足る論文または課題研究を，審査・最終試験において可とする。審査項目は以下の通りとする。 【変更後】 論文または課題研究について，題目届の提出，中間報告会，仮提出および予備審査を経て，審査・最終試験において，以下の審査項目に記した条件を満たし，学位授与の方針に定めた知識，能力等を有すると認められる場合に可とする。
3/19	193	変更	博士課程前期課程	環境人文学単位互換プログラム ※新規項目	2024 年度履修要項 前期課程の該当箇所 XII環境人文学単位互換プログラムを確認すること。
3/19	183	変更	博士課程前期課程 Ⅸ 修了に関する事項	3. 特別修了	「3. 特別修了（特別修了（9月修了）（3月修了）申請条件）」において以下の文言の削除 TESOL-J
3/19	190	変更	博士課程前期課程 TESOL	3. 修了に必要な科目	R Guide カリキュラムの一部改訂を参照すること。
3/19	202	変更	博士課程後期課程 Ⅵ 博士学位申請	4. 審査基準	以下の赤字の文章追記 学位授与の方針に定めた知識，能力等を有すると認められること。論文審査は次の基準にもとづいて行う。
6/19	40	変更	Ⅵ 試験・成績	1 試験に関する規定	以下の通り記載内容を変更 異文化コミュニケーション学部専門教育科目の試験に関しては，R Guide 掲載の「異文化コミュニケーション学部専門教育科目試験規則」もあわせてよく読んでおくこと。 ↓ 変更後 試験に関しては，R Guide 掲載の「立教大学試験実施全学規程」もあわせてよく読んでおくこと。
6/19	47	変更	Ⅵ 試験・成績	6 追試験	以下の通り記載内容を変更 R Guide の「異文化コミュニケーション学部専門教育科目試験規則」第4章を参照のこと。 ↓ 変更後 R Guide の「立教大学試験実施全学規程」を参照のこと。
	博士課程前期課程 Ⅶ 試験・成績				
6/19	170	変更	博士課程前期課程 Ⅶ 試験・成績	1 試験に関する規定	以下の通り記載内容を変更 異文化コミュニケーション研究科科目の試験に関しては，「異文化コミュニケーション学部専門教育科目試験規則」を準用するため，R Guide 掲載の同規則もあわせてよく読んでおくこと。 ↓ 試験に関しては，R Guide 掲載の「立教大学試験実施全学規程」もあわせてよく読んでおくこと。

<2023 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
5/18	20 154	変更	授業	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。 申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。
3/20	2	変更	教務事項の伝達について	2 教務関連 Web サービス	「授業支援システム（Canvas LMS, Blackboard 等）」など、項目の追加や修正がされているため、「教務事項の伝達について」は 2023 年度版の履修要項で確認すること。
3/20	18	変更	II 授業（学習生活）	2 学期・授業 4 休講	休講・補講、学校感染症の周知方法などに変更が生じているため、この項目は 2023 年度版の履修要項で確認すること。 ・学期に 4 半期科目の説明を追加 ・休講情報の掲示場所の文言を修正 ・補講に関する説明および掲示場所を修正 ・学校感染症についての情報掲載場所を修正
	152		<u>博士課程前期課程</u> 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	5 補講 7 学校感染症に罹患した場合の措置について	
3/20	24	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	8 他学部等科目の履修について	・「1. 注意事項」において下記文言を削除 「当該科目を設置している学部等の教務部掲示板、または」 ・2. 「履修登録・履修の可否」において以下の文言を修正 履修要項 → R Guide
3/20	25	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	9 派遣留学生・認定校留学生の履修	「3. 帰国年度の履修登録」において以下の文言を追加（赤字部分） (1) 5 月末日（秋学期は 10 月末日）まで（末日が窓口業務を行わない日の場合はその前日まで）に帰国届の提出および履修登録をした場合、（中略）必ず所属キャンパスの教務窓口を確認すること。 ※帰国年度の履修登録は帰国届を提出していることが前提となる。
3/20	36	変更	V 履修登録	4 登録科目の確認について	「1. 登録科目の確認について」で文言の削除と追加（赤字部分） Blackboard 及び SPIRIT Mobile (mobile V-Campus) 履修登録状況画面以外の時間割は正式な登録科目の確認には使用できないので注意すること。
	167		<u>博士課程前期課程</u> V 履修登録		

3/20	39	変更	V 履修登録	6 履修中止制度	2. 申請した科目の扱いにおいて以下の文言を修正（赤字部分） (1) 成績評価：評価対象とはならない ず 、成績通知表には「Q（履修中止）」と表示される。
3/20	40	変更	VI 試験・成績	項目全体	<p>「レポート試験」の提出方法がWebのみとなること、各種試験方法の発表場所、「追試験」、「成績評価調査」に関することなど、項目全体を通して大幅な修正が生じているため、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立教大学試験実施全学共通規定」の追加 ・「筆記試験」の入退室について文言を修正 ・「レポート」について提出方法など大幅な修正 ・「成績評価調査」の提出方法について修正 ・その他、試験方法発表掲示など文言の修正
	170		博士課程前期課程 VII 試験・成績		
3/20	50	変更	VI 試験・成績	9 成績 1. 成績評価	異文化コミュニケーション学部専門教育科目は「 <u>海外インターンシップ (GIC) A/B</u> 」, 「インターンシップ」が「合」「否」の評価になる。 ↓ 異文化コミュニケーション学部専門教育科目は「 <u>海外インターンシップ (GIC) B</u> 」, 「インターンシップ」が「合格」「不合格」の評価になる。
3/20	53	変更	VII 卒業に関する事項	項目全体	<p>「スポーツウエルネス学部・研究科」の新設に伴う追記や、「希望留年」（※学部生のみ）、「特別卒業・修了」の記載内容に大幅な変更が生じているため、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望留年（※学部生のみ）の願出書配布・受付・許可者発表を修正 ・特別卒業、特別修了に関する願出書の配布・受付・許可者発表を修正 ・その他文言の修正
	183		博士課程前期課程 IX 修了に関する事項		
3/20	56	変更	VIII 学籍・学費	項目全体	<p>「休学願の配付・提出先について」、「休学中の学費について」、「退学」、「学費」に複数の変更が生じているので、この項目は2023年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休学願の配付、提出先に関する修正 ・休学中の学費に関して修正 ・退学願の配付、提出先に関する修正 ・学費通知の発送および延納制度について修正
	185		博士課程前期課程 X 学籍・学費		
3/20	63	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	「3. Discipline Course」に以下のコースを新設 6. Japanese Studies in English Program (仮称) ※2023年度新設予定

					日本の文化や社会への理解を深め、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化理解を育み、日本と世界を結ぶ国際性豊かな人材となるための素養を身につける。
3/20	83 105	変更	異文化コミュニケーション学科履修規定 (一般・TBP)	5-2 海外留学研修 A/B/C【基盤科目】 3. 海外留学研修ガイダンス	海外留学研修ガイダンスは複数開催する(原則、火曜日5限)。すべての海外留学研修ガイダンスに必ず出席すること。 ↓ 海外留学研修ガイダンスは複数開催する。日時は留学準備室から案内されるので、すべての海外留学研修ガイダンスに必ず出席すること。
3/20	127	変更	異文化コミュニケーション学科履修規定 (DLP)	4-3 Overseas Study Program A/B/C【基盤科目】 3. 「Overseas Study Program」ガイダンス	Overseas Study Program ガイダンスは複数開催する(原則、火曜日5限)。すべてのOverseas Study Program ガイダンスに必ず出席すること。 ↓ Overseas Study Program は複数開催する。日時は留学準備室から案内されるので、すべてのOverseas Study Program に必ず出席すること。
3/20	181	変更	博士課程前期課程 Ⅷ 修士論文／課題研究	4. 題目届 5. 中間報告会 6. 修士論文／課題研究 仮提出 および予備審査	2023 年度入学者向け履修要項を必ず確認すること。各項目において複数の変更が生じている。

<2022 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達について	2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	窓口時間等の記載を変更したので、2022 年度入学者向け履修要項を確認すること。
3/19	14	変更	カリキュラムのしくみ	2 科目ナンバリングについて	「2. 全学共通科目のナンバリング」の「②- (1) 全学共通科目 言語系科目」および「②- (2) 全学共通科目 総合系科目」の「◆1 番台 (使用言語を示す)」を下記の通り変更 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授業
3/19	16	変更			「3. 異文化コミュニケーション学部専門科目のナンバリング」の「◆1 番台 (使用言語を示す)」を下記の通り変更 【変更前】英語以外の外国語で行う授業 ↓ 【変更後】日本語・英語以外の言語で行う授業

3/19	20 120	変更	Ⅱ 授業（学習生活）	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	学校感染症に第3種を追加。必ず2022年度入学者向け履修要項を確認すること。
3/19			博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
3/19	24	変更	履修規定（履修に関する注意事項）	8 他学部等科目の履修について	「1. 注意事項 - (2)」の文言（下線部）を追記および削除 あらかじめ定められている「他学部学生履修不許可科目」は配当年次が合っても履修できない。対象科目は、当該科目を設置している学部等の教務部Web掲示板（ただし、新座キャンパス開講科目については、 池袋キャンパス教務事務センター内の掲示板 ）、または履修登録システムで確認しておくこと。
3/19	25	変更	履修規定 履修についての注意事項	9 派遣留学生・認定校留学生の履修	以下の文言（下線部分）を追記 ただし、「海外留学研修 C1/C2」, 「Study Abroad in Asia A/B」履修者においては、2. 通年科目の接続措置の対象となる。
3/19	25	変更		9 派遣留学生・認定校留学生の履修	「1. 出国年度の履修と単位修得」について下記の通り文言を変更 【変更後】 「在学留学」・「休学留学」中は、本学の科目（オンライン科目を含む）を履修し、単位修得することはできないが、留学開始前の学期に開講されている科目の履修は以下の通り認められている。留学開始日より履修、単位修得が認められる科目が異なるため注意すること。 (1) 留学開始日が本学の定める春学期（または秋学期）の試験期間終了後の場合： 「在学留学」・「休学留学」のどちらを選択しても、出国年度の春学期1・2（または秋学期1・2）開講科目および春学期（または秋学期）開講科目を履修し、単位を修得することができる。通年科目の履修については、「2. 通年科目の接続」を確認すること。 (2) 留学開始日が本学の定める春学期1（または秋学期1）の試験期間終了日の翌日から春学期（または秋学期）の試験期間終了日までの場合：「在学留学」の場合に限り、出国年度の春学期1（または秋学期1）開講科目を履修し、単位を修得することができる（春学期2および春学期（または秋学期2および秋学期）開講科目の履修は認められない）。春学期1（または秋学期

					<p>1) 開講科目の履修を希望する学生は、留学決定後速やかに所属キャンパスの教務窓口で、手続き方法などについて説明を受けること。</p> <p>※試験期間は R Guide で確認すること。</p> <p>※科目の開講学期は、R Guide 科目表およびシラバスで確認すること</p> <p>その他、詳細については国際センターが発行する派遣留学生の募集要項を参照すること。</p>
3/19	32	変更	V 履修登録	1 履修登録とは	<p>以下の文言（下線部分）を追記</p> <p>履修登録は、学生がその年度・学期に自分が履修しようとする科目を届け出る手続きであり、学習計画の出発点となるものである。</p>
3/19	40	変更	VI 試験・成績	全項目	<p>2022 年度入学者向け履修要項を必ず確認すること。全項目において大幅な変更が生じている。</p>
3/19	54	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	<p>「1. 特別卒業（9月卒業）とは」の項目から以下の文言（下線部分）を削除</p> <p>※5 <u>特別卒業を許可された場合、許可されて時点の学費の納入状況により返金を行うことがある。</u>学費の納入額が特別卒業の申請条件として納入すべき金額に不足する場合は、特別卒業願を受理しない。</p>
3/19	58	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学	<p>「9. 休学中の学費について」内に以下の文言を追記</p> <p>※3 理学部における実験・実習費については、履修状況に応じて金額が異なる場合がある。</p>
3/19	65	変更	X 5 大学間単位互換制度（通称 f-Campus）	3 科目登録・登録結果発表 ➡ 1 履修登録	<p>「3 科目登録・登録結果発表（2）」について、文言（下線部分）を追記</p> <p>（R Guide > 履修登録 > f-Campus について > 申込日程）</p>
3/19				5 その他	<p>「2. 施設の利用」について、下記文言を追記</p> <p>また、社会情勢により施設の利用可否が変更になることがあるため、最新の情報は f-Campus ホームページで確認すること。</p>
3/19	80 102	訂正	異文化コミュニケーション学科履修規定（一般）	3 選択科目の履修要項 2. 先修規定	<p>「先修科目」内の以下の文言（下線部分）を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Introduction to Intercultural Communication / <u>異文化コミュニケーション概論</u> ・ Introduction to Linguistics / <u>言語学概論</u> ・ Introduction to International Development and Cooperation / <u>国際協力・開発学概論</u> ・ Introduction to Communication / <u>コミュニケーション研究概論</u> ・ Introduction to Media Communication / <u>メディアコミュニケーション概論</u>

3/19	92	変更	異文化コミュニケーション学科履修規定 (一般・TBP)	10-2 選択科目【専門科目, 専門演習・卒業研究, 卒業課題】	2 段落目に以下の文章を追加 英語コースの学生は、基礎科目をDLP科目で履修する。科目コード登録期間に履修登録システムより届出を行うこと。
3/19	91 92 95 96 107	変更	卒業要件単位表	卒業要件単位表欄外	下記文言を追記 ◆全授業回または一部の授業回を遠隔授業により実施する授業科目で修得した単位は、60単位まで卒業要件単位に含めることができる。60単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 遠隔授業により実施する授業科目とは、オンライン科目(全回オンライン)、オンライン科目(一部対面)、オンデマンド科目(全回オンデマンド)を指す。 ただし、2020年度および2021年度開講のオンライン科目・オンデマンド科目による修得単位については、新型コロナウイルス感染防止に伴う特例措置として、この60単位上限には算入されない。 なお、活動制限指針による「制限レベル1～4」が適用され、一時的に授業実施形態の変更が生じたことにより、当該科目の対面授業回が遠隔実施になった場合も60単位上限には影響しない。
3/19	99 118 130 142	変更	科目表 基盤科目	科目名 単位	以下の科目を追加 「Study Abroad in Asia A」 12単位 「Study Abroad in Asia B」 12単位
3/19	125 137	変更	異文化コミュニケーション学科履修規定 (DLP)	3 選択科目の履修要項 4. DLP以外の科目	「4. DLP以外の科目」の下に以下を追加。 5. PEACE 選択科目 「異文化コミュニケーション学科 PEACE CIC 科目表」で展開している PEACE 選択科目を履修することができる。PEACE 選択科目は、自由科目に参入される。
3/19	201	変更	<u>博士課程後期課程</u> 博士学位申請	2. 博士予備論文 (6)	以下の文言(下線部分)を削除 博士予備論文の可・不可については、正・副指導教員を含む3名の専任教員による口頭試問を経た上で決定する。
4/4	24	変更	Ⅲ-2 履修規定(履修についての注意事項)	3 重複履修 <専門教育科目>	重複履修を認める科目に「国内フィールドスタディ A/B」を追加。
9/2	201	訂正	博士課程後期課程 履修規定その他注意事項	V 試験・成績	秋学期科目および通年科目の成績発表時期 および成績表評価調査申請期間に関する記載を追記訂正。

<2021年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
-----	---	-------	---------	---------	----------------

3/19	2	変更	教務事項の伝達 について	1 掲示 2 教務関連 web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	左記の 4 つの項目については、 2021 年度入学者向け履修要項 を確認すること。
3/19	13	変更	カリキュラムの し くみ	2 科目ナンバリング 2. 全学共通科目のナンバリング	(2)全学共通科目 総合系科目 10 番台の分類については、 2021 年度入学者向け履修要項 を確認すること。
3/19	19	変更	授業（学習生活）	4 休講 休講情報	以下の文言（下線部分）を追記 休講情報は、SPIRIT Mobile および SPIRIT 教務部ページからも確認することができる。
	<u>博士課程</u> 授業（学習生活・履修計画・オフィスアワー）				
3/19	27	変更	履修規定 単位認定	休学留学制度による単位認定 （追加項目）	左記の項目を追加 詳細については、 2021 年度入学者向け履修要項 を確認すること。
3/19	31	変更	学習計画の立て方・ アドバイザー	2 アカデミックアドバイザー・ オフィスアワー 1. アカデミックアドバイザー	以下の文言（下線部分）を削除 アカデミックアドバイザーの詳細は、4 月はじめに R Guide および●学部掲示板にて発表する。
3/19	31	変更	学習計画の立て方・ アドバイザー	2 アカデミックアドバイザー・ オフィスアワー 2. オフィスアワー	「オフィスアワー」については、 2021 年度入学者向け履修要項 および R Guide を確認すること。
	155		<u>博士課程</u> 授業（学習生活・履修計画・オフィスアワー）	10 オフィスアワー	
3/19	37	変更	履修登録	5 科目コード登録における履修 登録の修正と修正内容の確認 4. 申し出期限	申し出の際には次の 2 点を 持参 すること。 ↓ 申し出の際には次の 2 点を 提示 すること。
	168		<u>博士課程前期課程</u> 履修登録		
3/19	51	変更	試験・成績	9 成績 3. 成績評価調査の申請	以下の文言（下線部分）を追記 * 「成績評価調査申請書」は所属キャンパスの教務窓口で配付する。 * 変更等がある場合は SPIRIT 教務部ページに発表する。
	180		<u>博士課程前期課程</u> 試験・成績		
3/19	55	変更	卒業に関する事項	5 特別卒業 4. 特別卒業式	「4. 特別卒業式」を削除し、「3. 特別卒業申請受付と許可者発表」の中に以下の文言（下線部分）を追記 <u>学位授与式</u> 詳細は各学部の R Guide を確認すること。 時間については、許可者発表日にあわせて成績参照システムに発表する。

3/19	61	変更	グローバル教養 副専攻	グローバル教養副専攻に関する すべての項目	大幅に内容を更新したため、左記については 2021 年度 入学者向け履修要項 を確認すること。
3/19	164	訂正	<u>博士課程前期課程</u> 履修規定 (単位認定)	1. 単位認定	以下の下線部を「4」に修正 手続きは学部生の単位認定に準じて扱うので、申請期 日等を「学部Ⅲ-3 履修規定-単位認定 3 入学前に 修得した単位の認定」および SPIRIT 教務部ページを参 照のうえ、池袋キャンパス教務事務センターに相談す ること。
3/19	201	変更	<u>博士課程後期課程</u> 博士学位申請	2. 博士予備論文 (2)	博士予備論文は、後期課程 2 年次 (在学 4 学期目以降) に提出することを原則とする。また、2 年次以降、在 学中は毎学期提出することができる。原則として、博 士学位申請論文提出の前 年度 までに提出すること。 ↓ 博士予備論文は、後期課程 2 年次 (在学 4 学期目以降) に提出することを原則とする。また、2 年次以降、在 学中は毎学期提出することができる。原則として、博 士学位申請論文提出の前 学期 までに提出すること。 (た だし、在学 4 学期目に提出し可となった者については、 在学 6 学期目に博士 (課程博士) 学位申請論文提出資 格を得る)
3/19	201	変更	<u>博士課程後期課程</u> 博士学位申請	2. 博士予備論文 (3)	博士予備論文を提出する者は、修了要件単位 (選択 科目 6 単位) を 修得見込 であること。(2020 年度以降入 学者) ↓ 博士予備論文を提出する者は、修了要件単位 (選択科 目 6 単位) を 修得済みあるいは修得見込 であること。 (2020 年度以降入学者)
3/19	201	変更	<u>博士課程後期課程</u> 博士学位申請	2. 博士予備論文 (4)	博士予備論文を提出する者は、それに先立ち 指導教 員 (正) (副) の許可 を得たうえ、指定の提出期日まで 予備論文提出願を学部事務 4 課に提出すること。提出 期日については、R Guide で確認すること。 ↓ 博士予備論文を提出する者は、それに先立ち 予備論文 を指導教員 (正) (副) に提示し、その許可 を得たうえ、 指定の提出期日まで予備論文提出願を学部事務 4 課に 提出すること。提出期日については、R Guide で確認す ること。
3/19	201	変更	<u>博士課程後期課程</u> 博士学位申請	2. 博士予備論文 (7)	博士予備論文審査の結果は、春学期提出は 8 月末 、秋 学期提出は 3 月末 に異文化コミュニケーション研究科 掲示板で発表 する。 ↓ 博士予備論文審査の結果は、春学期提出は 8 月末まで 、 秋学期提出は 3 月末まで に異文化コミュニケーション

					研究科から通知する。
3/19	202	変更	博士課程後期課程 博士学位申請	2. 博士予備論文 (10)	削除

<2020 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
2/24	95 99 118 130 142	変更	科目表 基盤科目	科目名 単位	<p>・以下の科目を追加</p> <p>「Seminar in English H」 2 単位 「Seminar in English J」 2 単位 「Seminar in English L」 2 単位 「Japan Studies Program J」 2 単位 「Japan Studies Program K」 2 単位 「Japan Studies Program L」 2 単位</p>
2/24	130	変更	科目表 基盤科目	科目名 単位	<p>・以下の科目を追加</p> <p>「Japanese Communication A」 2 単位 「Japanese Communication B」 2 単位 「Japanese Communication C」 2 単位 「Japanese Communication D」 2 単位 「Seminar in Japanese Language Business Communication」 2 単位</p>
2/24	121	変更	2-1 Academic Skills A/B【学部 必修科目】	(2) ベーシックセミナーA/B につ いて 2 行目	<p>2 年次から DLP コースに編入した学生は、2 年次春に 「Basic Seminar A」が自動登録される。 ↓ 2 年次から DLP コースに編入した学生は、<u>学部が指定し た場合は</u>2 年次春に「Basic Seminar A」が自動登録さ れる。</p>

以 上

【全学共通科目】

2016～2020 年度 1 年次入学者向け 履修要項（2020 年度配付）訂正・変更一覧

(2024 年 3 月 19 日時点 訂正・変更一覧)

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

<2024 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 (F 科目)	TOEIC → TOEIC®L&R 主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるとい旨を追記。
3/19	全 16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ 1・2」 ↓ 「海外ワークエクスペリエンス 1・2」
3/19	全 31 ～ 全 34	変更	言語系自由科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024 年度 R Guide 掲載の 「 言語自由科目 カリキュラムの改定について 」を参照すること。

<2023 年度中の訂正・変更箇所> なし

<2022 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 (F 科目)	末尾に以下の内容を追記 「F 科目には 3 つのレベル（導入、中級、上級）がある。導入は「学びの精神」で開講され、授業中の使用言語は日本語中心だが、英語教材を使用し、英語で学ぶことを体験する。中級・上級は「多彩な学び」で開講される。中級は TOEIC550 点相当、上級は 700 点相当の英語力を有していることを前提に実施する。」

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目	1 自由科目 履修上の注意 言語自由科目（英語）	ステージ2 基準点 CEFR B1 追加
					ステージ3 基準点 CEFR B2 追加
					ステージ4 基準点 CEFR B2 以上 追加

<2021 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による日本研究科目 （F科目）	外国語による <u>日本研究</u> 科目（F科目） ↓ 外国語による <u>総合系</u> 科目（F科目）
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	オンデマンド授業科目 （D科目）	項目削除
3/19	全 27	変更	言語系科目 指定年次・学期以後の単位修得方法	1 英語単位認定試験 受験手続	試験時間，試験場は全学共通科目掲示板に掲示するので，事前に確認しておくこと。 ↓ 試験時間，試験場は R Guide で，事前に確認しておくこと。
3/19	全 28	変更	言語系科目 指定年次・学期以後の単位修得方法	英語再履修クラス「英語R」 の履修 3 履修に関する注意事項	(1) 履修登録および履修許可 履修希望者は，説明会に必ず出席し，説明会で配付する「履修希望届」に必要事項を記入の上，期日までに教務事務センターに提出すること。締切日時を過ぎてからの提出は，一切受け付けない。 ↓ (1) 履修登録および履修許可 履修希望者は，説明会に必ず出席すること。 <u>履修登録方法は当該年度の R Guide で確認すること。</u> 締切日時を過ぎてからの申請は，一切受け付けない。
3/19	全 31	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	3. 自由科目の修得単位の 扱いについて	ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語 ↓ ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ <u>ロシア語</u> ・ <u>ポルトガル語</u>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容		
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	5. 自由科目（英語）の履修について	以下の文言（下線部分）を追加 自由科目（英語）は必修科目単位修得者のみが履修できる（英語海外文化研修，国際交流制度短期英語研修プログラムを除く）。 <u>なお、履修中止ができないため各科目の履修レベルをしっかり確認した上で履修計画を立てること。</u> ※ <u>3年次編入学生については、履修登録方法が異なる。登録方法の詳細については当該年度のR Guideにて確認すること。</u>		
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	7. 自由科目（ドイツ語，フランス語，スペイン語，中国語，朝鮮語）の履修について	以下の文言を追加 <u>母語は履修してはならない。母語を履修した場合，単位修得できないため注意すること。母語話者に当たるかどうかは各言語研究室で判断する。自身が母語話者であるかどうか不明な場合には，所定の期間内に教務事務センターに相談すること。詳細はR Guideで確認すること。</u>		
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	自由科目（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語）	以下の内容を表に追記 <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">関連科目</td> <td style="padding: 2px;">言語情報処理論（～語）（2）</td> </tr> </table> ※詳細は2021年度入学者向け履修要項の全32頁を確認すること。	関連科目	言語情報処理論（～語）（2）
関連科目	言語情報処理論（～語）（2）						
3/19	全 32	変更	言語系科目 自由科目 履修上の注意	自由科目	自由科目（ロシア語）の表追記 ※詳細は2021年度入学者向け履修要項の全32頁を確認すること。		
3/19	全 33	変更	言語系科目 自由科目 科目表	欄外記載の注意事項	※担当者，開講学期，登録方法等は当該年度のR Guideで確認すること。 ↓ ※下記の科目表は入学年度4月時点のものである。担当者，開講学期，配当年次，登録方法を含む最新の科目表はR Guideで確認すること。		

<2020年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
5/13	全 15	変更	科目表 スポーツ実習 スポーツスタディ	科目名 単位	「スポーツスタディ e」 2単位（追加）

訂正日	頁	訂正／ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
11/9	全 17 全 19 全 22 全 31	訂正	言語系科目 適用年次	3 年次編入入学者 適用年次	2018・2019 年度 3 年次編入学者に適用 ↓ 2018 年度以降 3 年次編入学者に適用
11/9	全 33	変更	自由科目 科目表	科目名 単位	2020 年度以下の科目を新設 「オンライン海外語学研修科目（英語）」 1 単位（追加）

以 上